ふくしまから始める

— Future From Fukushima —

特別編

福島県伊達市に誕生した新たな臨床、教育、研究の拠点

～福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座～

昨秋、福島県中通り北部にある伊達市に、
福島県立医科大学が新たに『総合内科・臨床感染症学講座』を設立した。
今回は、『ふくしまから始める特別編』として、
設立メンバーの方々に同講座を詳しくご紹介いただこう。

美しい環境に恵まれた伊達市で働く魅力

福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座（以下、当講座）は、「地域」という現場で総合的な医療を行う一方で、医学教育、若手医師の育成、臨床研究を同時に進めていくことを目的として、２０２０年10月に福島県伊達市の公益財団法人仁泉会北福島医療センター（以下、当院）に設立されました。当院においては、総合内科・感染症科と掲げて診療にあたっています。

意図したことではなかったのですが、メンバーは、すべて福島県外から集まってきました。それぞれ総合内科のみならず感染症や呼吸器を専門にしているため、現在は県や大学からの要請に応じて新型コロナウイルス感染症の治療にも従事しています。

さて、当講座を紹介するにあたっては、我々の活躍の場である地域の説明が欠かせませんが、伊達市のウェブサイトでは、下記のように説明されていました。

「福島県伊達市は福島県北部にあり県庁所在地の福島市の東に位置します。その名前は仙台市青葉城で有名な伊達政宗の先祖である伊達朝宗が一帯を治めたことが由来です。四季折々に花々が咲き乱れ、特に桃の花が一面をピンクに染める春はまるで桃源郷のようです」（伊達市ウェブサイトより一部改変）

実は、このように伊達市のＰＲがあまりにも控え目であり、「伊達政宗の祖先と言われてもねえ」と、いろいろな場所で勤務した経験を持つ私でさえも、今回ばかりは引越し前に少しブルーになったことを白状します（伊達の皆さん、ごめんなさい）。

しかし、実際に住んでみたら、すばらしいところでした！そこで、私が伊達市に住んで良かったと思ったことをランキング形式でお伝えします。これにより、我々の活躍の場である地域を理解していただければ幸いです。

＊　＊　＊

第4位：フルーツが、とんでもなく美味です。しかも農協では激安で購入できます。当院横にある『ＪＡ管轄直売所あたご』では、『あかつき』（福島県産桃の代表品種）が通常価格1ダース４０００～５０００円のところ、特別価格の５００円！多少、傷はありますが味は変わらず、しかも1ダースもあるので毎日食べても食べきれないほどです。「フルーツはチューハイの素材」としか認識していなかった果物嫌いの私ですが、今や種々の果物を購入するようになり、嗜好が１８０度変わりました。

また、子どものころに祖母宅で食べた、あんぽ柿が伊達市発祥だったのは奇遇でした。ちなみに、あんぽ柿の製造においては硫黄で燻す過程があるので、その季節に喘息発作が多いのは呼吸器的豆知識です。

そして、当院の法人名である『仁泉会』は、英語で『Jinsenkai Medical ORCHARD（JMO）』と表記するほど、法人も〝果樹園（ORCHARD）推し〟であることを付け加えておきます。

＊　＊　＊

第3位：飯坂温泉が自転車で行けるほど近い。飯坂は福島県が誇る有名温泉街で、かの松尾芭蕉も『奥の細道』に記したとのことです。

ただし、公共浴場のお湯は非常に熱いので要注意。やせ我慢でやっと肩まで浸かれたときには、なんだか大人になった気分でした。なお、ホテルに設けられている風呂など、普通の湯温の温泉もあるのでご安心ください。

＊　＊　＊

第2位：まさに桃源郷。当院の辺りでは春に桃の花が咲き乱れ、ピンクの絨毯の上に病院が建っているように見え、青空が映えて二重の虹がかかったときなどは最高の景色です。

もうひとつ、春の花と言えば桜ですが、春の伊達市では、そこかしこで桜が花を咲かせます。特に、紅屋峠千本桜と呼ばれる名所は、山ひとつが丸ごと桜尽くしです。もしも、これが東京であれば〝3密〟も懸念される群衆が殺到するところですが、幸か不幸か伊達市は人がまばらなため、その景色をほぼ独り占めできるぜいたくな環境にあります。

＊　＊　＊

第1位：ここまで長い前振りでした。最後は、我が『福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座』です！

伊達市では多くの地方の市町村と同様に高齢化が進み、特に複数の医学的プロブレムを持つ高齢者の入院医療と救急医療の脆弱性が指摘されてきました。そうした状況下、当講座が伊達市と仁泉会による寄附講座として開設され、主に北福島医療センターで診療に従事するようになったのです。

当講座では、教授に亀田総合病院総合内科部長代理として活躍した山藤栄一郎先生を、准教授に前・長崎労災病院総合内科部長の加藤隼悟先生をお招きしました。総合内科及び感染症分野の若きリーダーとして著名なこのお2人に、微力ながら私も加わり、「地域に信頼される医療の砦」、「最高水準の臨床教育」、「日本一のリケッチア症研究拠点」をめざし、日々奮闘中です。

また、当講座は、濱口杉大先生の主宰される福島県立医科大学総合内科の多大なサポートを受けています。このように錚々たる指導医陣を誇る当講座は、すでに「知る人ぞ知る名店」と化しており、福島県内外から総合内科を志す優秀な若手医師が続々と集結しつつあります。ここ伊達市で、近いうちに何やらとんでもないことが起きそうな雰囲気です。ぜひ、ご注目ください。

＊　＊　＊

それでは、伊達市の誇るべき点、怒涛の復習です！第4位：フルーツ、第3位：飯坂温泉、第2位：桃源郷、第1位：福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座！もしご興味のある方がいらっしゃれば、お気軽にご連絡いただけるとうれしいです。

北福島医療センターの周囲では、春には桃の花が咲き乱れる

北福島医療センター総合内科・感染症科のメンバー

安田 一行

福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座講師／
公益財団法人仁泉会北福島医療センター総合内科・感染症科

Profile

やすだ・いっこう

2009年　北海道大学医学部卒業
　　浦添総合病院初期研修医
2011年　天理よろづ相談所病院呼吸器内科後期研修医
2013年　国立がん研究センター中央病院呼吸器内視鏡科短期レジデント
2014年　天理よろづ相談所病院呼吸器内科医員
2015年　長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科熱帯医学修士課程
2016年　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程
　　長崎大学病院感染症内科社会人大学院生
2018年　長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科戦略職員（フィリピン）
2020年　福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座講師
　　公益財団法人仁泉会北福島医療センター総合内科・感染症科